

平成30年度第1回大船渡市地域安全推進協議会 議事録

1 開催日時及び場所

○日時 平成30年7月18日(水) 午前10時～11時30分

○場所 大船渡市防災観光交流センター 会議室

2 委員数 20名

3 出席者

○委員 16名

- ・江 刺 由紀子 (気仙地区少年警察ボランティア協会)
- ・山 下 タエ子 (大船渡市社会福祉協議会)
- ・近 藤 均 (大船渡市防犯協会連合会)
- ・木 下 美栄子 (大船渡地区人権擁護委員会)
- ・及 川 のぶ子 (大船渡市各種女性団体連絡協議会)
- ・金 野 千代子 (大船渡市更生保護女性の会)
- ・高 橋 正 紀 (岩手県高等学校長協会気仙支会)
- ・谷 澤 通 広 (大船渡市小中学校長会)
- ・鈴 木 宏 延 (大船渡市PTA連合会)
- ・鈴 木 将 志 (気仙地区保護司会)
- ・菊 池 まゆみ (大船渡商工会議所)
- ・阿 部 なつ子 (大船渡市交通指導隊)
- ・松 本 育 子 (大船渡市交通安全母の会連合会)
- ・大 野 則 幸【代理：氏家 潤】(大船渡警察署生活安全課)
- ・西 村 精 一 (大船渡警察署交通課)
- ・志 田 努【代理：伊藤晴喜】(大船渡市教育委員会事務局)

○事務局 (大船渡市生活福祉部市民環境課) 3名

市民環境課長 安田由紀男、課長補佐 鈴木康代、係長 今野宏

4 議事の経過(協議内容)

- (1) 開 会 鈴木課長補佐の司会により進行する。
- (2) 会長挨拶 江刺会長より挨拶。
終了後、安田課長より、今年度新たに委員に委嘱された方々4名を紹介。
- (3) 報 告
大船渡警察署生活安全課の氏家係長及び西村交通課長より、大船渡市内における
犯罪・交通事故情勢等について説明。
- (4) 協 議 (特殊詐欺と少年犯罪等について)
ここから江刺会長が議長となり進行。
事務局の今野係長より、特殊詐欺と少年犯罪等について資料に基づき説明。

[江刺会長]

昨年大船渡署管内で発生した、特殊詐欺被害2件の詳細について、警察の方から情報提供していただけないでしょうか？

[氏家係長]

1件は70歳代女性、オレオレ詐欺の典型的な事例で、息子や弁護士を名乗りお金が必要になったと騙したもの。被害者は大船渡から一関駅まで行き、弁護士事務所職員を名乗る犯人へ直接手渡した。

2件目は報道発表していないので詳細は省略。

[江刺会長]

市内における特殊被害・少年犯罪等について出席委員の方々からも意見を頂戴したいと思います。

[近藤委員]

コンビニの店員が被害を防止したと表彰されたりしているが、どんな手口で犯行に及んでいるのか、被害にあったら解決はできるのか。

[氏家係長]

コンビニで電子ギフト券を購入させて、そのカードの数字やアルファベットをメールなどで送信させるもの。被害に遭ったお金の回収は非常に困難である。

大船渡警察署としては「電子ギフト券購入のお客様へ」というチラシをコンビニへ配布し対策は行っている。

[木下委員]

銀行の窓口でお金を引き落とす時でも係員に教わりながらやっている。

[氏家係長]

銀行等の金融機関では、警察の依頼に基づいて、高額の引き落としの際は、現金が必要な理由等を確認し、特殊詐欺被害の可能性がある場合は、警察へ通報するなどして未然防止に努めている。

県内では、警察官が本人から聞き取りした結果、特殊詐欺の被害に遭っていたことが判明したこともある。

[山下委員]

親族へ送金しているが少額でも使用目的を聞かれた。

[高橋委員]

子どもたちには、帰宅は1人で行動しないで複数で帰るよう話している。帰宅時間等、夏休みに向けて子どもたちへ徹底するよう注意していきたい。

[氏家係長]

大船渡市では深夜徘徊による少年補導が多く、少年が目的もなく出歩いている際に補導している。

[谷澤委員]

市からも夏休み期間中の注意事項等お知らせは届いており、小学生は17時、中学生は18時の帰宅と決まっている。小中学生の深夜徘徊はほぼないかと思われる。

[鈴木宏延委員]

小学校の保護者には帰宅時間は守るように周知している。市内の深夜徘徊の補導件数72人とあるが、そのうち無目的で補導された件数はどれくらいあるのか？

[氏家係長]

正確な数字は分からないが、ほとんどは18～19歳の少年である。

[江刺会長]

暴力団にならずに、半グレの人数が増加し、その人たちが少年犯罪につながりがあると聞いている。また、再犯率が3人に1人となっているがその辺について話があれぱと思います。

[金野委員]

更正保護の総会でもその話は出ている。犯罪者を受け入れする企業が増えれば、再犯率にも影響が出てくるのではないかと思う。気仙管内でも70社以上の協力事業所があると聞いている。広く社会でも受け入れられるようになれば…。

[鈴木将志委員]

現在、気仙管内では、75社の企業が協力している。これは盛岡市と同じくらいの登録数であるが、全企業が理解を示しているかどうかは分からない。再犯防止は就職先と収入の安定が確保できるかどうかによると思う。実際、市内の建設業者にも就職しているようだ。

[菊地委員]

自分の子どもには、知らない人でも挨拶するようにと話しているが、声掛け事例を見ると対策も難しいなと思う。

[金野委員]

赤崎の小中学校が新しくなり、通学路も変わってきている。山口地域の坂道でスピードを出して自転車に乗っている中学生がT字路でも止まらずに走ってくるので危ない。事故があってからでは遅いので、安全対策をしっかりと行って欲しい。

[西村課長]

赤崎中学校は自転車の安全モデル校に指定している。県道中心に自転車の街頭指導も行っているが、通学路に関しては、直接学校側へ申し出て欲しい。

[阿部委員]

大小付近で子どもたちの通学時間帯に立って見守っている。大型車の通行も多い道路ではあるが、今のところ安全に通学できている。自分の息子も自転車で亡くしているので、子どもたちの安全にはいつも心がけて見守っていきたい。あと、今朝、北小のプールにうちを捨てられていて、子どもたちがプールに入れない状況だと聞いたが…。

[伊藤補佐]

市で調査しているが、人の仕業ではなく、どうやら動物ではないかと思われる。カメラを設置して何の動物なのか探っているところである。

[松本委員]

初めて会議に参加させていただいたが、色々な情報が聞けて参考となった。これからもよろしくお願ひしたい。

[及川委員]

防犯対策としてはやはり周囲からの声掛けが一番大切。地域での取組として行っていければと思う。

事務局の今野係長より、資料 11 ページの特殊詐欺被害防止対策としての取組実施要領について説明。

⇒デザインを見てもらい、細かい配色や字の大きさ等指摘してもらい、事務局で修正後、市内のコンビニ、金融機関へ掲示依頼することです承を得た。

(5)・(6) 情報交換・その他

特になし。

11 時 30 分閉会。